

【RIMS 合宿型セミナー】

① 代 表 者	所属： 大阪大学 理学研究科	副 代 表 者	上智大学 理工学研究科
	職名： 准教授		教授
	氏名： 落合理		都築正男
② 題 目：保型 L 函数の特殊値と付随する p 進 L 函数 (英 文 名 : Special values of automorphic L -functions and their p -adic properties)			
③ 実施期間： 平成 28 年 9 月 19 日～平成 28 年 9 月 23 日(5 日間)			
④ 参加者数： 28 名 (内、外国人 1 名)			
⑤ 講演数： 12 コマ (内、英語で行なわれたもの 1 コマ)			
⑥ 合宿型セミナーの概要 (開催目的、成果など)： 高階数の代数群の保型 L 函数に対しては、しばしば「よい積分表示の存在」、「アルキメデス素点や悪い有限素点での積分の計算」、「特殊値の代数性質」などが未完成で、その停滞が p 進 L 函数の研究の大きな障害となっている。そのような状況を掘り起こし、高階数 p 進 L 函数の構成の指針や課題をはっきりさせること、それによって、保型 L 函数の特殊値の理解を深め、新しい p 進 L 函数の構成を進展させるために、集会を開催した。国内からは、普段あまり共同で集会を行うことのない保型 L 函数の専門家と岩澤理論などの p 進理論の専門家の両方を半々で招き、台湾からも p 進 L 函数の専門家を招待した。集会の事前準備セミナーでも、保型の専門家と岩澤理論の専門家が補い合って、紹介する $GL(3)$ の p 進 L 函数の論文の一つの結果を改良する一コマがあった。集会中も、異なるバックグラウンドの専門家の相互作用により、互いに新しい知見を得たり刺激を得たりして大きな収穫があった。元々の目論見を上回る大きな手応えを感じた。大半の参加者の数学的な充足度も大きかったようである。今回の刺激をきっかけに参加者各人のこの分野での研究が大きく進むことが期待される。			
研 究 成 果 の 公 表 方 法	⑦ 講究録を <input type="checkbox"/> 発行する <input checked="" type="checkbox"/> 発行しない ※発行する場合：原稿完成予定時期 平成 年 月 日頃		
	⑧ 講究録以外の方法で報告集を発行する場合： タイトル： 出版社： 出版予定時期：平成 年 月 日頃		
	⑨ 専門誌等による場合： 主要な論文リスト (掲載予定、プレプリントを含む。準備中も可) 一部の講演者から提出していただいた原稿や参考資料を集会の HP： http://www.math.sci.osaka-u.ac.jp/~ochiai/padicl2016.html に掲載予定である。		

RIMS 合宿型セミナー「保型 L 函数の特殊値と付随する p 進 L 函数」

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一環として、下記のように研究集会を催しますのでご案内申し上げます。

オーガナイザー 落合理 (大阪大学) 都築正男 (上智大学)

記

研究期間 平成 28 年 9 月 19 日 (月) ~ 9 月 23 日 (金)

場所 美山町自然文化村 河鹿荘 (京都府南丹市)

9 月 19 日 (月)

14:00 ~ 16:30 落合理 (大阪大学)
楕円カスプ形式の円分 p 進 L 函数 I

17:00 ~ 18:00 千田雅隆 (東北大学)
モチーフの円分 p 進 L 函数の存在予想

19:30 ~ 20:30 千田雅隆 (東北大学)
モチーフの円分 p 進 L 函数の存在予想 (つづき)

9 月 20 日 (火)

9:00 ~ 12:00 小林真一 (九州大学)
楕円カスプ形式の円分 p 進 L 函数 II

13:30 ~ 15:30 安田正大 (大阪大学)
代数的保型表現と係数体について

16:00 ~ 18:00 石井卓 (成蹊大学), 宮崎直 (北里大学)
 $GL(n)$ の Γ -因子について

19:30 ~ 20:30 石井卓 (成蹊大学), 宮崎直 (北里大学)
 $GL(n)$ の Γ -因子について (つづき)

9月21日(水)

8:30 ~ 10:00 森山知則(大阪大学)
周期の非消滅性に関する Sun の結果の紹介

10:15 ~ 13:00 森本和輝(神戸大学)
 $GL(2n)$ の保型 L 函数の特殊値の代数性

午後 自由討論

9月22日(木)

9:00 ~ 12:00 平野雄一(東京大学)
Eisenstein コホモロジーと $GL(3)$ の p 進 L 函数の構成の現状

13:30 ~ 18:00 原隆(東京電機大学), 並川健一(東京電機大学)
Modular symbol の方法による $GL(2n)$, $GL(n) \times GL(n-1)$ の p 進 L 函数の構成の現状

19:30 ~ 20:30 原隆(東京電機大学), 並川健一(東京電機大学)
Modular symbol の方法による $GL(2n)$, $GL(n) \times GL(n-1)$ の p 進 L 函数の構成の現状
(つづき)

9月23日(金)

9:00 ~ 10:30 都築正男(上智大学)
保型 L 函数の特殊値の非消滅性の現状について

10:45 ~ 12:15 Ming Lun Hsieh(国立台湾大学)
三重積 L 函数に付随する p 進 L 函数について

13:30 ~ 15:00 Ming Lun Hsieh(国立台湾大学)
三重積 L 函数に付随する p 進 L 函数について (つづき)